

(海外・国内) 出張報告書 (学生用)

2015 年 11 月 9 日提出

氏名	森田 智也
所属	獣医内科学教室
学年	D2
出張先	マレーシア、クアラルンプール
出張期間	2015.10.31~11.3
目的	Asian Meeting of Animal Medical Specialties (AMAMS) 2015 における口頭発表

活動内容 (2,000 字程度、活動内容が判る様な写真や図表を加えて下さい)

今回申請者はマレーシア・クアラルンプールにて開催された第 5 回 Asian Meeting of Animal Medical Specialties (AMAMS) 2015 に参加し、口頭発表を行ってきた。AMAMS は 2 年に 1 回アジア各国の臨床獣医師によりアジアにおける専門医制度を確立するために開催されている国際学会であり、Internal Medicine、Surgery、Ophthalmology、Dermatology の 4 セクションから構成されている。主に日本、韓国、台湾、マレーシア、タイなどの大学教員や学生が参加していた。クアラルンプールは 1 年を通して常に最高気温は 32℃ 前後であり 11 月は雨期であるとのこともあり、大変過ごしにくい環境を想像していたがそれほど苦にはならなかった。食べ物についても学会で提供された料理も含め大変満足のいくものであった。ただマレーシアへの飛行機の便が少ないため移動の日程がやや強行日程であり疲労と眠気との戦いでもあった。



図 1、学会会場のホテル

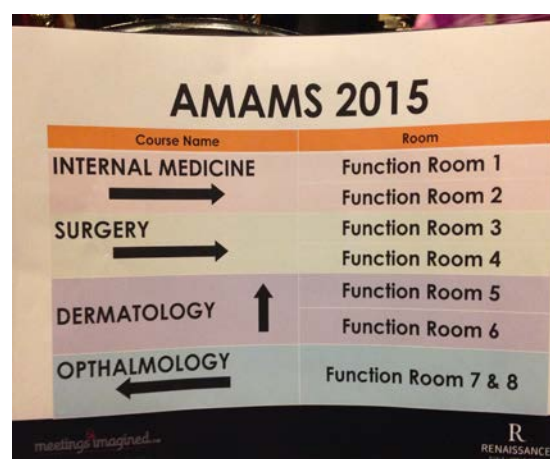


図 2、学会の案内図

申請者は Internal Medicine のセッションにおいて博士課程での研究テーマである心エコー図検査による新たな右心機能評価指標の確立の一部である急性肺高血圧症モデル犬を用いた検討について口頭発表を行った。発表タイトルは”Changes of echocardiographic indices of right heart function in acute pulmonary hypertension model dogs”である。発表内容としては、これまで心機能評価において重要視されていなかった右心機能に注目し、実験的に作出した右心系が主に障害される急性肺高血圧症モデル犬を用いて人医療において用いられている心エコー指標と侵襲的であるが正確な評価が可能な心臓カテーテル検査による血行動態の関連を検討することで、心エコー指標が非侵襲的に肺高血圧症の病態を評価し得るかを検討したものである。内容としては以前に国内の学会において発表したものであったが、今回初めて海外における英語での口頭発表ということもあり大変緊張した。発表時間が 15 分と長くなかなか発表内容を覚えることができず苦勞したが、発表自体は大きな問題はなかった。一方で質疑応答に関しては自身の英語力の低さを痛感させられる結果となった。まず質問者はネイティブスピーカーではないためそこまで早いというわけではなかったが、質問内容を聞き取ることに苦慮し断片的に理解することしかできなかった。またそれ以上に質問に対して英語で対応することはより難しく自身の意図を正確に伝えることができなかった。これらの能力は一朝一夕で身につくものではないため日々努力していくことが必要と感じさせられた。今回の経験は今後の英語での口頭発表や海外インターンシップへの良いモチベーションとなった。今回アジア各国における申請者と同様の分野の専門家とディスカッションをする機会を得られたことで、自身の研究を進めていく上での新たな視点や問題点について知ることができた。国内の学会とは異なりアジアの他国における研究についても知ることができたのは貴重な経験となった。

AMAMS 2015 における Internal Medicine のセッションは、口頭発表 15 題、ポスター発表が 12 題とやや少なく、発表会場も小規模なものであり、発展途上という印象を受けた。その一方でコーヒブレイクにおいて参加者同士の盛んなディスカッションが行われており、国内の学会とは異なる様相であった。また 1 日目の夜に行われたパーティーでは各国の伝統的な芸能やダンスが披露されており、それぞれの国の文化に触れることもできた。アジアにおける獣医臨床は未だ発展途上であるものの本学会などの活動により専門医制度の確立が進められていけば、欧米のレベルに達することが可能と感じられた。

今回得ることができた国際学会で発表、ディスカッションするという貴重な経験を生かし、国際的に活躍することができる研究者となるべく日々研鑽を積んでいきたいと思う。



図 3、発表する申請者

指導教員確認欄	所属・職・氏名： 獣医内科学教室・教授 滝口 満喜
---------	------------------------------

※1 電子媒体を e-mail で国際連携推進室・リーディング大学院担当に提出するとともに、指導教員が押印した原本を国際連携推進室・リーディング大学院担当に提出して下さい。

提出先：国際連携推進室・リーディング大学院担当

内線：9545 e-mail: leading@vetmed.hokudai.ac.jp